



1月31日・京都競馬場パドック

## 小島友実の あの馬の STORY



### トゥールエッフェル

「今、もう紹介するのは加用正調教師が管理するトゥールエッフェル。先月の当コーナーでは加用厩舎のハーパー、ハーパーが登場してくるので、連続、加用厩舎ベーシャルです。」

「いつのも同じ最近、グリーンヒートヒート加用厩舎の相性はとても良く、トゥールエッフェルの半兄であるヤンパード、「も加用厩舎の所属。そのトゥールエッフェルを最初に見た時、加用師はこんな印象を持ったとあります。」

「兄も背もだしく、体つきが大きい所が似てたなと思つましたね。既に兄が活躍しているところからトゥールエッフェルも楽しも思つましたよ。ただ兄よりも馬体が大きくて仕上がるのが少し大変かあと感じたのを覚えています。」

育成自体は順調で、3歳の札幌競馬場のターミナルレースで、ターミナルで始動となつた経緯を師匠が振り返ります。

「フレッシュデビュー」テイ産駒だし、札幌のダートコースでの調教の動きも良かつたので、ターミナルレースで出走しました。レースでは先行したものの、直線でカムバックされる厳しい展開。大型馬で器用さがない分、兄同様、自分のペースで行けた方がいいのかなど、印象でしたね。」

その後、日先を変えて芝を試したり、距離を短くしてダートの1400メートルを使つたりしましたが、なかなか結果

が出ないでいたトゥールエッフェル。しかし今年1月31日、「トランク」から5戦目に嬉しい瞬間がやつてきました。

都のダート1800メートルの内枠だったの岡田祥嗣騎手には、「ダメ元でハナに行つたけれど指示を出していました。実際ハナに上がり、終始マイペース。直線では後続を振り切れ、終わってみれば優勝でしたね」

トゥールエッフェルは初勝利をゲット。昇級戦は小倉へ遠征して、そのお賞(ダーティーハンド)に出走しました。しかし、スタート直後から前に行ききれず、5番手位からの競馬をするが、14着にして自分の形でレースが出来た

「現状では行けていないタイプですね。それに、小倉へ輸送してもトゥールエッフェルは減らなかったみたいですね。この馬はね、とにかく食べねえですよ」

「お。師匠おねえ、トゥールエッフェルは凄く飼葉食いが旺盛だね。でも、食べ始めたら飼葉桶を離さない。パンジーでも落ち着いてしまうほど、馬房の様子を見つけても、常に樂をする事を考へてる節があつたわ(笑)。もう少しシャキっとしてればいいのに」と、結果が出るといふね。」

「この事で、レースではじてな工夫が施されています。」

「パンジーではいつも我慢しますが

レースでは外します。トゥールエッフェルはいつもパンジーでいるから(抑制)、啖合に乗せたい意味もあるとあります。」

右耳が赤で左耳が青色の加用厩舎

お馴染みのパンジー先生の、お話を聞

ふるふと聞いて出したのですが、ハーパーはレースの時、メハツを着用して走るんですね。」

「おの馬は繊細なタイプ。だから落

ち着かせたい意味でレースでもメハツを着用して走るんですね。」

現在は放牧にてトゥールエッフェル。今後の見通しを伺つました。

「暖かくなると馬体があと10~15キロ位減りて競馬に臨めたら、もう少しの馬の良さがでると思つます。今後、レース経験を積めば、段々と競走馬としてのスイッチも入りつつと思つて。血統背景からわかる通り活躍でもう馬。復帰は夏前位でしそうね。」

「食べ始めたら飼葉桶を離さない。パンジーでも落ち着いてしまうほど、馬房の様子を見つけても、常に樂をする事を考へてる節があつたわ(笑)。もう少しシャキっとしてればいいのに」と、結果が出るといふね。」

「パンジーではいつも我慢しますが、結果が出るといふね。」

profile

グリーンチャンネル「トラックマンTV」(毎週金曜 19:00~20:30)、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」ほか競馬ファンにはお馴染みの顔。平日は地方競馬、週末は中央競馬、そしてプライベートでも競馬三昧の日々を送る。本業のアナウンスのほかにも、競馬ブックのコラム「小島友実の好奇心keiba それいけ現場」の連載など活躍の場を広げている。